

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	総合国語Ⅱ B (M、S)	
科目基礎情報							
科目番号	0184		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年		3		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：『高等学校改訂版現代文B』（第一学習社） 参考書：『新版四訂新訂総合国語便覧』（第一学習社），『新しい常用漢字』（数研出版），『改訂版 漢字とことば 国語学習課題』（尚文出版）						
担当教員	田村 修一						
到達目標							
1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。3.専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	常用漢字の音訓を正しく使い、主な常用漢字が書けることが顕著にできるようになった。		常用漢字の音訓を正しく使い、主な常用漢字が書けると認められる。		常用漢字の音訓を正しく使い、主な常用漢字が書けると認められない。		
評価項目2	読書週間の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を顕著に習得した。		読書週間の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得したと認められる。		読書週間の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得できない。		
評価項目3	専門の分野に関する用語を思考や表現に顕著に活用できる。		専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。		専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できない。		
評価項目4	高度な文章を読み解くことが顕著にできる。		高度な文章を読み解くことができる。		高度な文章を読み解くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (E)							
教育方法等							
概要	高度な評論・文学作品を精読していく。高校3年レベルの検定教科書の作品を中心に採りあげる。作文課題も与えられる。常用漢字、類義語・対義語に関わる小テストも適宜行う。						
授業の進め方・方法	授業は講義形式に進められる。						
注意点	[成績の評価方法・評価基準] 上述の到達目標を基準とする定期試験（70％），レポート・小テスト（15％），音読・質疑応答（15％）による総合評価。定期試験は中間・期末の2回おこなう。日本漢字能力検定・日本語検定等も推奨し、級に応じて加点対象とする（上限10％）。 [教員の連絡先] 研究室 B棟3階 (B-303) 内線電話 8905 e-mail: tamuraアットマークmaizuru-ct.ac.jp （アットマークは@に変えること。）						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明、評論 中村雄二郎「目に見える制度と見えない制度」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		2週	評論 中村雄二郎「目に見える制度と見えない制度」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		3週	評論 中村雄二郎「目に見える制度と見えない制度」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		4週	評論 夏目漱石「現代日本の開化」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		5週	評論 夏目漱石「現代日本の開化」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		6週	評論 夏目漱石「現代日本の開化」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		7週	評論 夏目漱石「現代日本の開化」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	中間試験返却・到達度確認、評論 大澤真幸「リスク社会とは何か」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		10週	評論 大澤真幸「リスク社会とは何か」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		
		11週	専門の分野に関する用語を思考や表現に活用したレポートの作成		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。3.専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。		
		12週	評論 丸山真男「『である』ことと『する』こと」		1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。		

		13週	評論 丸山真男「『である』ことと『する』こと」	1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。
		14週	評論 丸山真男「『である』ことと『する』こと」	1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。
		15週	評論 丸山真男「『である』ことと『する』こと」	1.常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。2.類義語・対義語を思考や表現に活用できる。4.高度な文章を読み解くことができる。
		16週	期末試験返却、到達度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	15	0	0	15	0	100	
基礎的能力	70	15	0	0	15	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	